第5節 子育て意識

ソウル、台北、東京の母親は、自分の「子どもが将来うまく育っていくかどうか心配」である程度が高い。とくに、ソウルでは約６割の母親が「子どもを育てるためにがまんばかりしている」と突出した回答をよせている。

これまでみてきたように教育・育児に力を入れて、子どもの進学に対する期待を抱いているが、日々の子育てについてはどのように感じているだろうか。ここでは、子育てに対する意識を肯定的な面、否定的な面に分けてみてみることとしたい。

肯定的な項目：各都市とも比率は高いが、台北のみやや低い

第一に、子育てに対する肯定的な意識、すなわち、「子どもがかわいくてたまらないと思うこと」「子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思うこと」と感じているのは東京、ソウル、北京、上海では90%以上（「よくある」＋「ときどきある」、以下同様）の回答率である（**表２－５－１**）。

その一方で、台北の母親のみが上記の項目について90%を割っているが、「子育てによって自分も成長していると感じること」という項目は５都市の中で台北が最も高く85%を超えている。

第二に、肯定的な感情の中でも、「自分の子どもは結構うまく育っていると思うこと」という項目について、ソウルの母親は約95%と最も高くなっている。その一方で、東京や台北の母親は70%台と20ポイント前後の開きがある。

第三に、性別による違いがあまりみられないことがわかる（**図２－５－１**）。

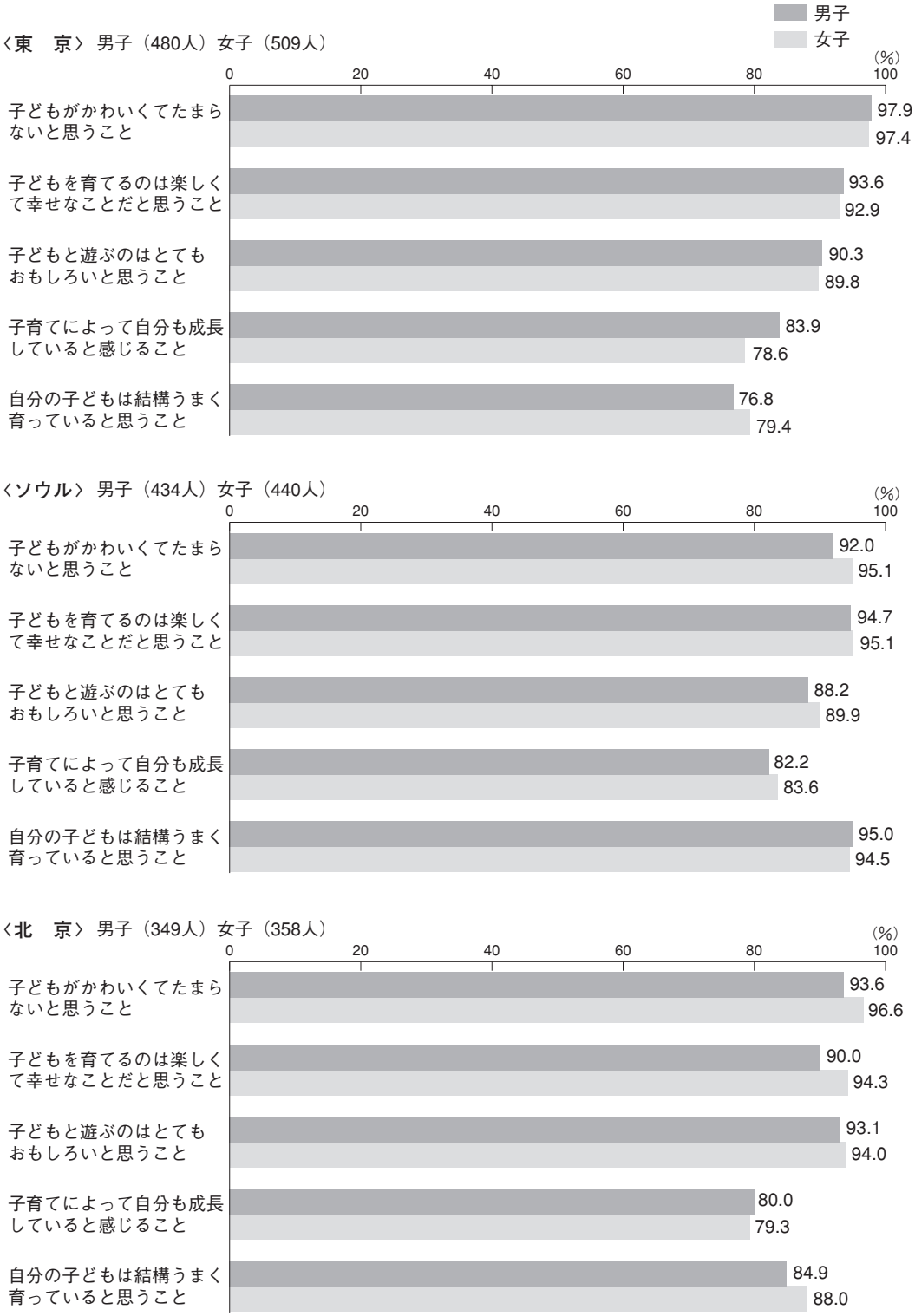
■表２－５－１　子育て意識

（%）

		東京（989人）	ソウル（874人）	北京（707人）	上海（709人）	台北（1842人）
肯定的な感情	子どもがかわいくてたまらないと思うこと	97.6	93.6	95.1	93.5	88.2
	子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思うこと	93.2	94.9	92.1	90.2	80.8
	子どもと遊ぶのはとてもおもしろいと思うこと	90.1	89.1	93.5	91.0	84.9
	子育てによって自分も成長していると感じること	81.3	82.9	79.6	80.6	85.9
	自分の子どもは結構うまく育っていると思うこと	78.0	94.7	86.5	87.1	71.8
否定的な感情	子どもが将来うまく育っていくかどうか心配になること	67.3	76.0	53.8	50.5	71.7
	子どもに八つ当たりしたくなること	62.3	35.5	11.7	7.0	14.4
	子どもがわずらわしくていらいらしてしまうこと	61.5	41.8	36.3	35.2	54.2
	子どものことでどうしたらよいか分からなくなること	60.2	70.5	73.5	64.4	63.6
	子どもを育てるためにがまんばかりしていると思うこと	35.1	63.1	20.2	26.0	40.1

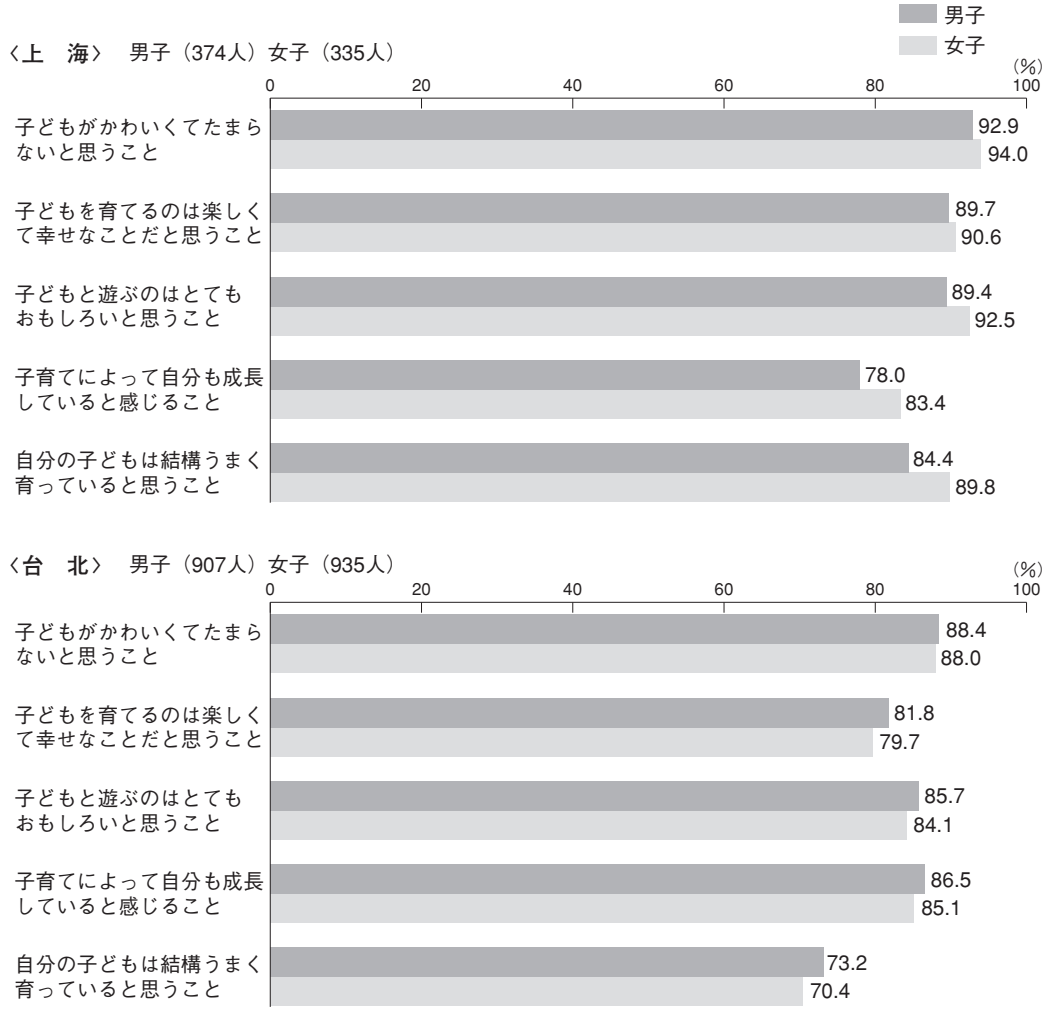
注１）母親の回答のみ分析。
注２）「よくある」＋「ときどきある」の%。
注３）網掛けは都市別にみたときに60%以上の項目。

■図２－５－１　子育て意識・肯定的な感情の項目（子どもの性別）



注１）母親の回答のみ分析。
注２）「よくある」＋「ときどきある」の%。

■図２－５－１　子育て意識・肯定的な感情の項目（子どもの性別）〔続き〕



注１）母親の回答のみ分析。
注２）「よくある」＋「ときどきある」の%。

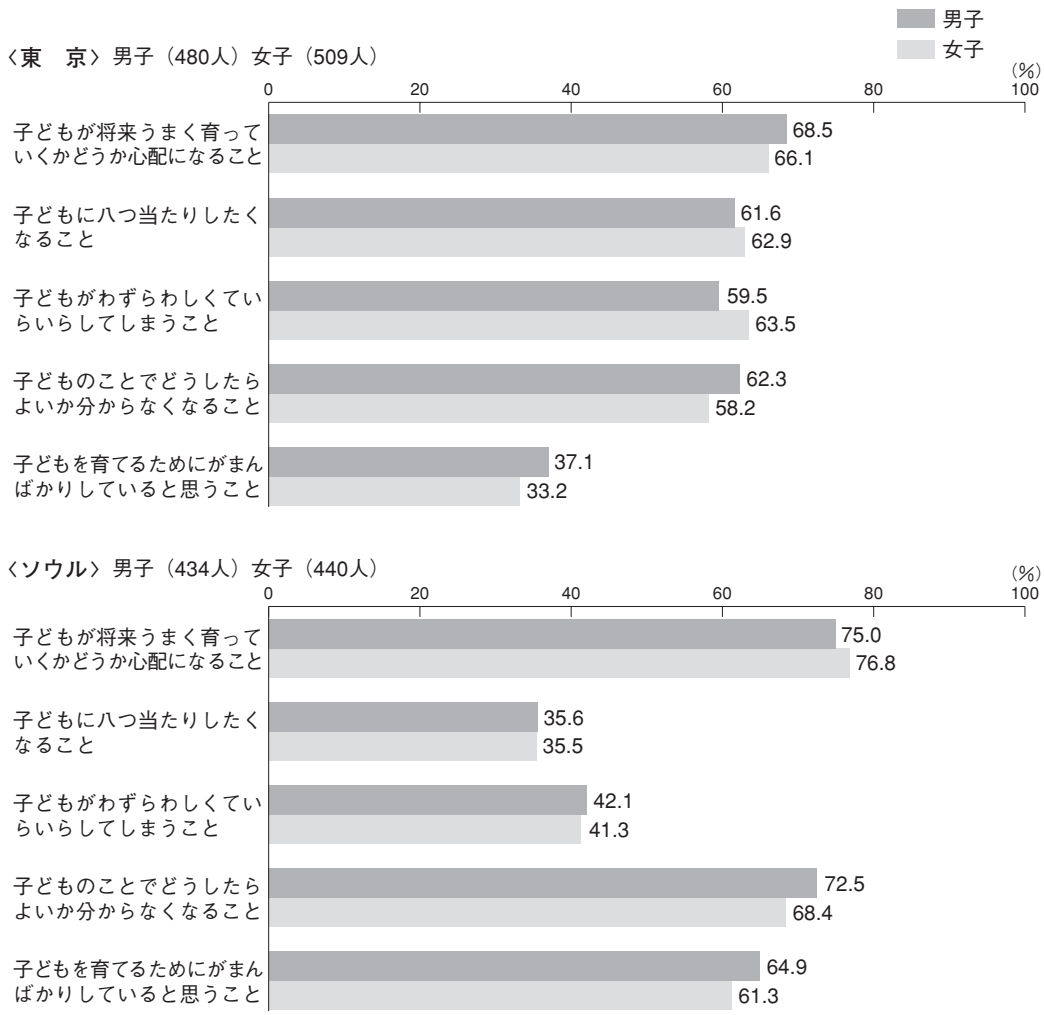
否定的な項目の回答率が高い東京

第四に、その裏返しである、否定的な項目である、「子どもが将来うまく育っていくかどうか心配になること」のスコアが、ソウル、台北、東京と高くなっている。

第五に、否定的な側面のあらわれ方が各都市で異なっている。東京は、5つの否定的な項目のうち、4項目について「ある」(「よくある」＋「ときどきある」、以下同様)が60%を超えている。その一方で、北京や上海は「子どものことでどうしたらよいか分からなくなること」のみが60%を超えている。

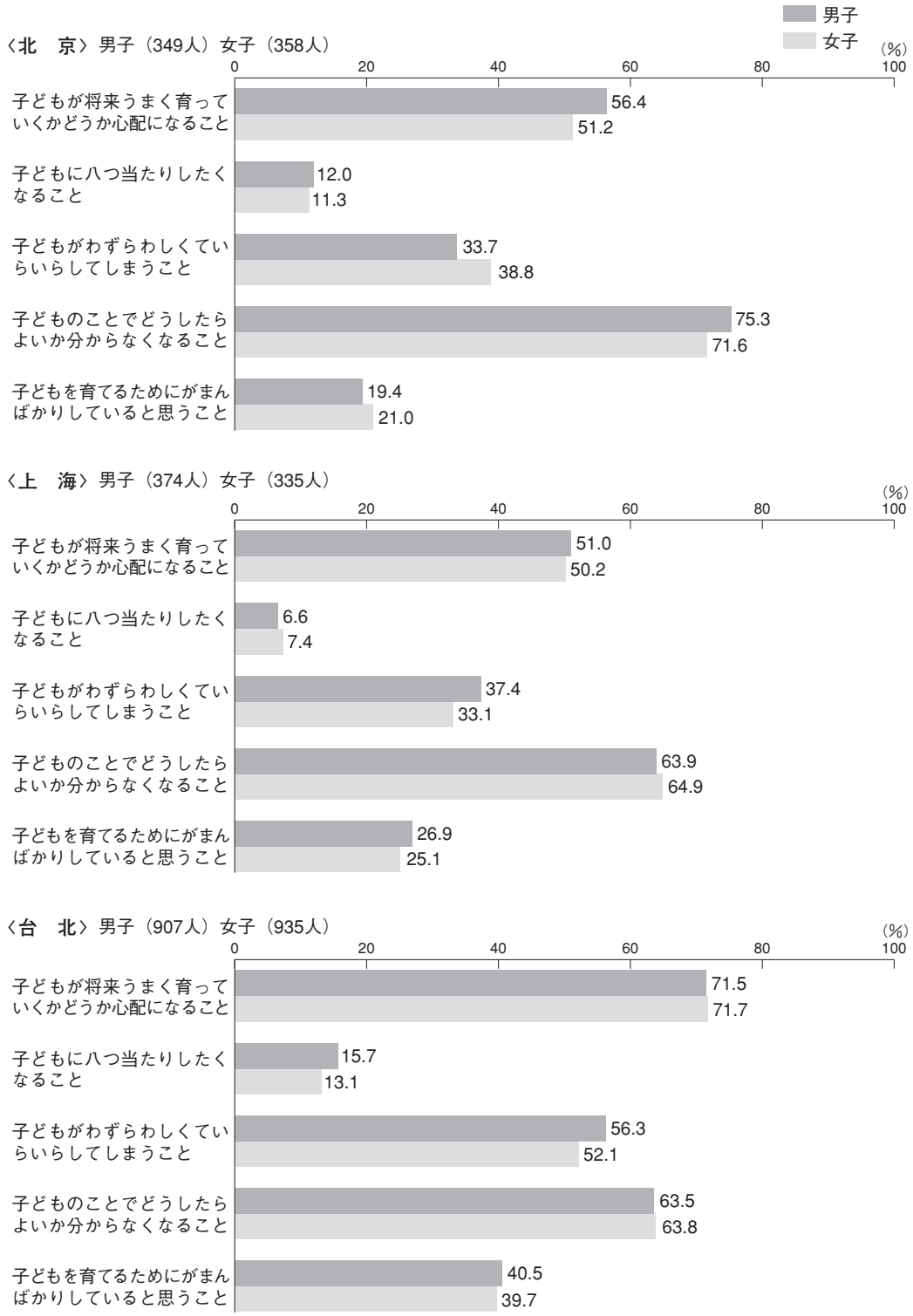
また、台北は、「子どもが将来うまく育っていくかどうか心配になること」「子どものことでどうしたらよいか分からなくなること」の2項目が60%を超えている。ソウルは、その2項目に加えて、「子どもを育てるためにがまんばかりしていると思うこと」も6割を超えている。また、それが5都市の中で最も比率が高く、63.1%と突出している(表2－5－1、**図2－5－2**)。

■図2－5－2　子育て意識・否定的な感情の項目(子どもの性別)



注1)母親の回答のみ分析。
注2)「よくある」＋「ときどきある」の%。

■図２－５－２　子育て意識・否定的な感情の項目（子どもの性別）〔続き〕



注１）母親の回答のみ分析。
注２）「よくある」＋「ときどきある」の%。